



陸前高田



3.11

仮設住宅体験館

東日本大震災で
使われた仮設住宅を
再現して宿泊研修
できるのは
全国でここだけ！

予約



アンケート



※すべて予約制です。

陸前高田市では、震災の教訓を伝える場、防災・減災を学ぶプログラムの一環として、震災当時に使用した応急仮設住宅の一部を活用し、体験宿泊施設を整備しています。実際に仮設住宅で生活していた方々に語り部等として参画を求め生業と生きがいの場を創出することで、コミュニティの活性化や交流人口の拡大を図ることを目的としています。

当館は、陸前高田市内に53箇所あった応急仮設住宅団地の内、旧陸前高田市立米崎中学校グラウンドに建設された「神田仮設団地」の2棟8戸です。同敷地には2011年6月に18棟89戸が建てられ、最大で267名が住んでいましたが、震災から約8年半後の2019年（令和元年）下半期に入居者全員が退去しました。

※当時は地震の発生に伴う災害救助のために必要な応急的な仮設建築物として、昭和措置（建築基準法第85条第5項）を適用し木杭の上に建設されました。当施設は本設となることから、建築基準法に則りコンクリート基礎に改修しています。

※応急仮設建築物から施設へ用途変更したことから建築基準法に則り設備設備が必要となり、各部屋の上部に小窓を増設しています。

3.11仮設住宅体験館ってどんなところ？

東日本大震災で被災され仮設住宅で生活した方々からヒアリングを行い、当時の部屋を再現しています。暑さ寒さ、狭さなどの住環境の状況を追体験するだけでなく、隣近所での支え合いやボランティアからの温かい支援があって前を向くことができた様々なエピソードも知り、防災対策やコミュニティづくりなど、自分自身が今からできることを考えてみましょう。

陸前高田市の仮設住宅建設の流れ

岩手県内で被災者が一番多かったため、発災当時は3,600～4,000戸の建設を想定しましたが、みなし仮設住宅制度や近隣自治体に仮設住宅が建設されたことで2,148戸の建設となりました。建設後は、日本赤十字社より「生活家電6点セット」として、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、炊飯器、電気ポットを寄贈いただきました。

仮設住宅として使用していた当時の様子



東海新聞社提供

2011年3月11日	東日本大震災発生
3月16日	岩手県からの建設候補地の現地調査
3月19日	第1弾着工（陸前高田一中仮設住宅）
3月30日	第1弾完成、第2弾着手
6月末	全ての土地が決定
7月27日	全ての建設工事が終了
8月11日	最終説明会、鍵の引き渡し

出典：岩手県庁ホームページ「応急仮設住宅の建設に係る進捗状況について」

見学

無料

展示室を見学します。生活する上で大変だったこと、それに対して工夫したことを、施設管理スタッフより説明いたします。（所要時間30分程度）



語り部

有料

地元住民が経験談をお話します。仮設住宅に関する内容が中心になりますが、震災時のことや避難所生活についてもお聞きになりたい方は、ホームページの予約フォームにできるだけ具体的にご記載ください。

ご要望の日時によっては地元住民からのお話が難しいこともあります。経験談をスタッフが代弁することもありますので、予めご了承ください。

※展示物をゆっくりご覧になったり、語り部と交流されたい場合は、所要時間90分を推奨しています。予約フォームにご希望の時間をご記載ください。

※事前学習としてオンラインでの提供も可能です。参加人数と料金は同様です。



仮設建築物を利用した近隣の関連施設

たまご村（岩手県陸前高田市）

2012年6月にオープンしたプレハブの「仮設商店街」が、2020年7月に「村」として再スタートしました。中心市街地に移転・再建できない人や、市内外のNPOなどの異業種連携を図っています。施設内の視察や震災当初の講話も行っています。

お問い合わせ

たまご村事務局

☎ 090-8585-9607



イコウェルすみた（岩手県住田町）

木造戸建ての仮設住宅の部材を再利用して建設した、オフィス棟・滞在体験棟などを有する施設です。展示棟では震災後の住田町の後方支援等に関する資料を展示しています。

お問い合わせ

住田町企画財政課政策推進係

☎ 0192-46-2114

イコウェルすみた

☎ 0192-47-5075



宿泊研修

有料

東日本大震災において仮設住宅で生活した方々からヒアリングを行い、7部屋を家族構成別に再現しています。ご希望の部屋タイプにご宿泊いただけます。

防災用品を販売しています！

平時から災害時にも活用できるパラコードを準備しております。乾紐の代わりとして、物干しやデンタルフロスとして様々な場面で使用でき、臨時の授乳ケープや子どもの遊びにも活用することができます。

また、缶詰や長期間保管できる保存水や防災食もご用意しておりますので、体験時の食事や自宅での備蓄用としてぜひお試しください。



「たかたか」。総集編販売中！

東日本大震災前から続いていることなど、陸前高田に様々な形で縁を持った大学生が、「この町をつくりあげてきた出来事を残したい」との想いで制作した冊子です。ぜひお手に取ってみてください。



●部屋タイプ

部屋番号	間取り	宿泊定員	生活モデル
17-1	2DK	3名	20代夫婦と乳幼児
17-2	1DK	2名	80代1人暮らし
17-4	3K	6名	親子5人暮らし
18-1	2DK	4名	60代夫婦2人暮らし
18-2	1DK	2名	20代1人暮らし
18-3	2DK	3名	60代夫婦とペット
18-4	3K	5名	2世帯7人暮らし

ご準備いただきたいもの

・タオル・歯ブラシ・髪剃り など

ご利用いただける家電

・冷蔵庫・IHクッキングヒーター
・電子レンジ・ドライヤー など

※その他、ご利用いただける設備や消耗品についてはホームページをご確認ください。

3.11仮設住宅体験館でこんなことをやってみよう

暮らしメモを見て想像しよう

生活する上で苦労されたことや工夫、ご近所さんとのエピソードなどを、部屋のいたるところに掲示しています。



スリッパを脱いで立ってみよう (冬季)

冬はとても底冷えします。当時は応急的な仮設建築物として木杭の上に建設されたため地面と床が近く、布団や寝巻を複数枚重ねても夜中に目が覚めたそうです。



柱と壁を触ってみよう (冬季)

鉄製の柱と梁は外気の影響を受けて、夏は熱く冬は冷たくなります。冬はストーブを使うことで天井や壁、床なども結露し、カビが多く発生しました。



隣の部屋の音を聞こう (知人同士での利用に限ります)

当館の壁には断熱材が入っていますが、壁の近くで話したり壁に衝撃を与えたりすると、隣の部屋まで聞こえます。



ご予約

ご予約フォームより受け付けています。空き状況や休館日はホームページのカレンダーをご確認ください。

見学（所要時間：30分）		語り部（所要時間：90分）		宿泊研修	
予約受付	2 日前	予約受付	7 日前	予約受付	7 日前
利用時間	9:00～17:00 （最終受付 16:00）	利用時間	9:00～20:00 （最終受付 18:30）	利用時間	チェックイン 14:00～21:00 チェックアウト 10:00 まで
定員	30 名まで	定員	30 名まで	定員	25 名まで
料金（税込）	無料	料金（税込）	1～9 名：8,000 円 10～19 名：10,000 円 20～30 名：15,000 円	料金（税込）	【部屋タイプ：1 室料金】 1DK：10,000 円 / 室 2DK：13,000 円 / 室 3K：16,000 円 / 室 ※1 名あたりの金額は上記料金を利用人数で割った金額です。 ※室料の他に、1 名あたり寝具料金 1000 円がかかります。
支払い方法	—	支払い方法	現金・クレジットカード・電子マネー ※請求書はご用意下さい。 ※二次元コードでの決済はご利用できません。	支払い方法	現金・クレジットカード・電子マネー ※請求書はご用意下さい。 ※二次元コードでの決済はご利用できません。



予約
フォーム

【キャンセル規定】

ご利用日3日前からキャンセル料が発生しますので、詳細はホームページをご覧ください。

※1泊では分らない"暮らし"のイメージを深めたい方は宿泊研修と語り部セットでのお申し込みを推奨しています。

ACCESS 3.11仮設住宅体験館

岩手県陸前高田市米崎町字神田113-10



ホームページ



Instagram

施設内設備



駐車場 10 台
駐車可能



スロープ
有ります



トイレ
個室 8 個

お問い合わせ

3.11仮設住宅体験館

（一般社団法人トナリノ）

☎ 080-2830-8412

🕒 受付時間 9:00～17:00

✉ info@311kasettsu.com

SDGsの取り組み



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）に取り組んでいます。



各方面からの行き方



東北横断自動車道（釜石自動車道）
宮守 IC から・・・車で 55 分



三陸沿岸道路 陸前高田 IC から
・・・車で 15 分



【JR 東北新幹線をご利用の方】
一ノ関駅から・・・車で 1 時間 10 分



【飛行機をご利用の方】
いわて花巻空港から・・・車で 1 時間 20 分



最寄り 脇ノ沢駅から
・・・徒歩で 20 分